

平素、ウエストジャパンアウトドスクール研究プロジェクトにご協力頂きありがとうございます。2022年度4月より、9月、12月と計3回に渡って、「年間のキャンプ事業に参加することが、社会性や積極性、自然への理解や適応力といった側面にどのような影響するのか」という問いについて調査を実施してきました。この度、現段階での調査結果を共有させていただきます。

ポジティブアースネイチャーズスクール、大阪体育大学徳田研究室、至学館大学福富研究室

【本研究における根本的な問い】

「キャンプに参加する事でなにが成長するの？」



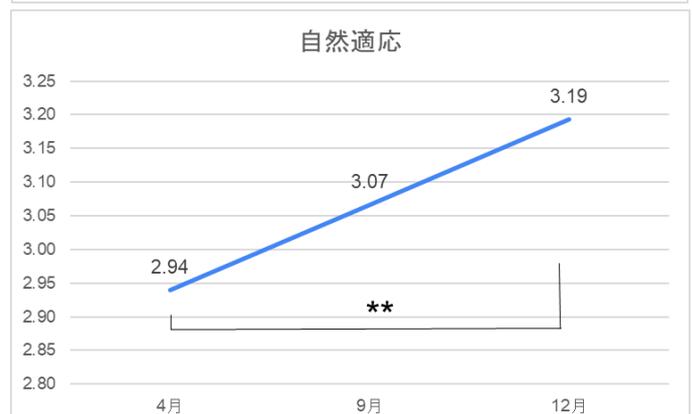
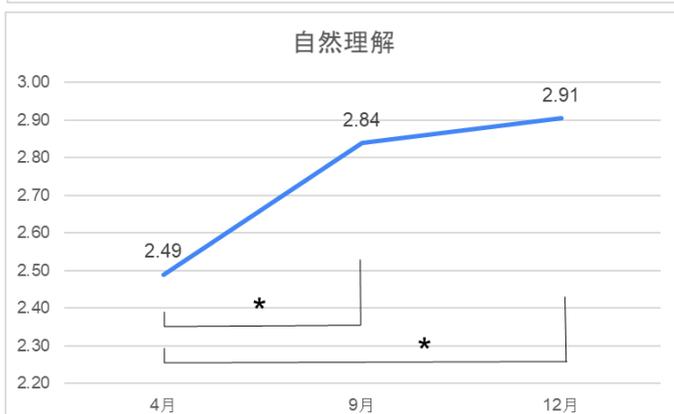
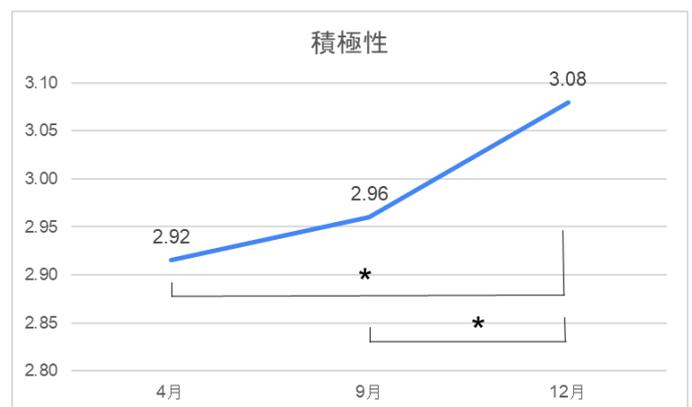
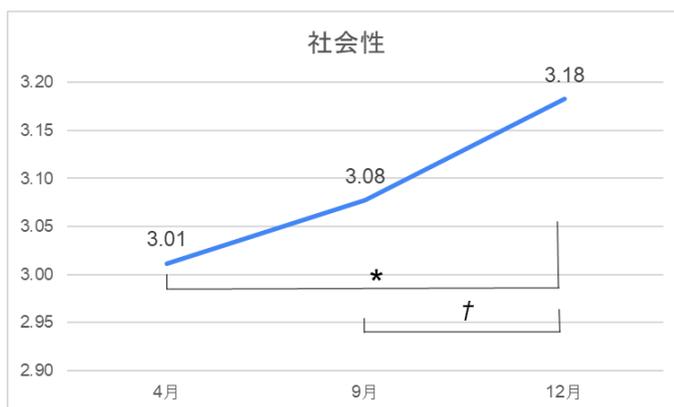
上記「問い」を明らかにするために、POEES(幼児用自然体験活動効果測定尺度)と呼ばれる、幼児・児童の自然体験活動の効果を社会性・積極性・自然理解・自然適応の4つの側面から検証できる尺度を採択し、保護者の皆様にお子様のそれらの側面について評価頂きました。

その結果…

社会性、積極性、自然理解、自然適応すべての平均得点が向上しました！

下記の図をご覧ください。社会性、積極性、自然理解、自然適応すべての評価観点において、時期を追うごとに得点が向上していることがわかります。また、4月の調査結果から12月の調査結果においては、すべての評価観点で統計的に有意な向上が認められました。これは、アースレンジャーに参加している子どもたちの変化が今回だけの結果に留まらず、今後も同様な変化がみられるであろうと予想される確率が非常に高いことを示しており、アースレンジャーによる教育的効果が一定程度認められたという事です。

一方で、「アースレンジャーだけじゃなくて他にもいろいろな事が影響しているんじゃないの～」と思われる皆様、鋭い！たしかにその可能性も考えられるため、同時に保護者の皆様には、アースレンジャーに参加させている中で感じるお子さまの「変化」についてお聞きしました。」 ※次のページへ！



表：POEES の 4 月、9 月、12 月の対応のある一要因分散分析および多重比較の結果

n=50	4月		9月		12月		F値	多重比較
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差		
社会性	3.01	0.57	3.08	0.41	3.18	0.41	5.82**	4月<12月*、9月<12月†
積極性	2.92	0.65	2.96	0.65	3.08	0.61	3.61*	4月<12月*、9月<12月*
自然理解	2.49	0.58	2.84	0.52	2.91	0.63	19.00**	4月<9月*、4月<12月*
自然適応	2.94	0.77	3.07	0.76	3.19	0.78	6.97**	4月<12月**

**p<.01, *p<.05, †p<.10

保護者様からの声

【アースレンジャーに参加させている中で感じる「変化」はありますか？】



上記、保護者の皆様からのコメント(※抜粋)にもあるように、POEES の評価に加えて、「協力するようになった」、「挑戦をするようになった」というような、社会性や積極性の成長を実感する声が見られます。さらには、「海や川などの自然の中で遊ぶことをより楽しむようになった」といった、自然への適応や理解が促されると実感しているコメントも見られます。

以上の事からも、ご家庭や学校生活などの日常生活に加えて、アースレンジャーでの、自然豊かな環境下(海、山、川、火、丘…)での活動や、多様なプログラム、学校生活とは異なる仲間やスタッフとの関わりといった、**非日常の体験が子ども達の成長に繋がっていることが考えられます。**

今後は、現在の効果検証に加えて、アースレンジャーの「何が」このような効果を生むのかという要因を明らかにすることにもチャレンジをしていきたいと思っております。保護者の皆様には、引き続き調査のご協力をお願いすることもあると思っておりますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

研究プロジェクト一同